戸田市立笹目東小学校

令和４年７月５日（火）

《さくらんぼ学級・１年生研究授業》

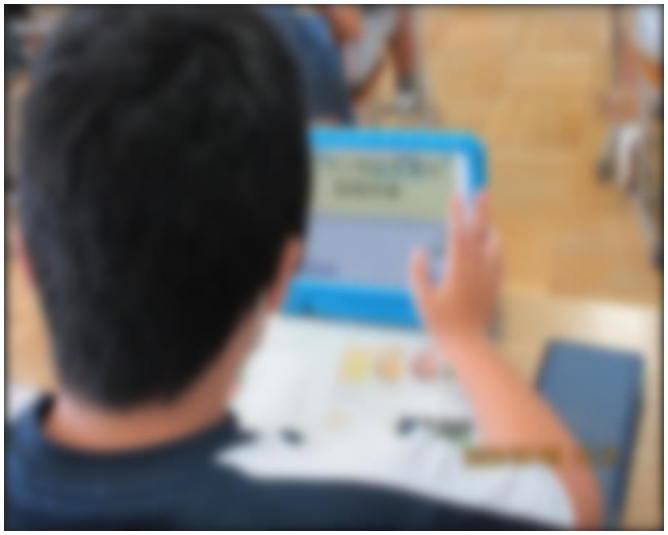
１年生生活科「なつがやってきた」

子供たちの「しゃぼん玉をやってみたい！」という声から、この授業が始まりました。研究授業では、「しゃぼん玉をぱわーあっぷしよう！」として、モールやラップの芯や針金などを使って、子供たちが思い思いのしゃぼん玉を作る様子が見られました。グループで大きなしゃぼん玉を作れた時には「わあー」と、歓声があがっていました。

研究協議では、参観の教員から「グループワークでの話合い」についての成果が出ていました。上智大学の奈須正裕教授からは、子供たちが主体的に活動できる「環境調整」の重要性について御指導をいただきました。

さくらんぼ学級「野菜をそだてておいしくいただこう」

さくらんぼ学級では、畑でピーマンやなすなどの野菜を育ててきました。校舎の改修工事によって、畑を引っ越ししなければならなくなりました。そういった様々な過程を話合い協働する中で、大事な野菜をどのように調理するか考え、調理方法を出し合うのが本時です。子供たちは「ピーマンの肉詰め」などの料理を、本から調理法をロイロノートに写し、学んでいました。ペアで話し合い、より良い調理のアイディアを交流していました。



研究協議では、「子供たちの調理への想いが詰まった見通しのある活動」であったことが成果としてあがりました。

上智大学　奈須正裕教授からは、生活・総合における「生活をする教育」の野菜作りから調理までの自然な流れの授業の在り方のご指導をいただきました。